

入院診療計画書(長時間ビデオ脳波 2泊3日)

ID番号 @PATIENTID
病名（他に考える病名）

氏名 @PATIENTNAME
様

症状

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

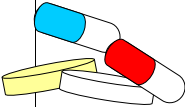
号室

担当医師 @USERNAME
印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名 @SYSDATE

月日	入院1日目 /	入院2日目 / がんばりましょう！	入院3日目 /
経過	入院時の説明や検査を受けます。 長時間ビデオ脳波検査を受けます。 	長時間ビデオ脳波検査を受けます。 	長時間ビデオ脳波検査終了です。 医師の許可ができれば退院になります。 
目標	安全に長時間ビデオ脳波検査を受けることができる。		
検査	☐ 胸部レントゲン ☐ 心電図 ☐ 採血 		☐ 医師の診察後、追加の検査がある場合があります。
処置	☐ ビデオ脳波検査前に、シャワーに入ってください。 (脳波検査中は、入浴できません。) ☐ 午後お部屋で、医師と検査技師が頭に電極をつけにきます。 ☐ 入院中は、心電図モニターを装着して頂きます。 発作が起きた時に備えて、ベッド柵を緩衝材で保護し、ベッド柵の隙間を布団で敷き詰めます。 安全確保のためご協力お願いいたします。 	☐ 1日目と同様に頭に電極を装着したまま過ごします。	☐ 午前中にビデオ脳波検査は終了し、頭の電極を外します。 ☐ ビデオ脳波検査終了に伴い、心電図モニターも外します。 ☐ ビデオ脳波検査終了後、シャワーに入ってください。 
観察	☐ 体温、脈拍、血圧、体の中の酸素濃度を測ります。眼の瞳孔の大きさ、手足の動きを観察します。 ☐ ビデオ脳波検査中に発作が起きた際は、 ご家族がナースコールで教えてください。 看護師が訪室し、 発作の観察、全身状態の確認を行います。		
注射	☐ 発作が起きた時に備えて、点滴を刺します。 点滴は持続的ではなく、血液が固まらない薬剤を使用し、腕に短くまとめておきます。	☐ 点滴が閉塞するのを防ぐため、薬剤を流します。	☐ 点滴を抜きます。
内服	☐ 持参したお薬は看護師に全てお渡しください。薬剤師が確認後、医師指示で内服を継続するか指示が出ます。 ☐ 普段内服している 発作止めの薬も医師指示で内服する必要があります。 		退院後、何か気になる症状がある際は、下記へご連絡ください。 ○平日：脳疾患センター外来 Tel.024-547-1218 ○休日・夜間：きぼう棟7階東病棟 Tel.024-547-1617
食事	☐ 医師の指示がない場合、特に制限はありません。 		
行動	☐ 脳波検査中は、病室内ですごして頂きます。移動は看護師の見守りのもとになります。 ☐ トイレの際や用事がある際はナースコールで看護師を呼んでください。 		
説明	☐ 看護師より入院のオリエンテーションを行います。 ☐ 医師より検査の説明を行います。 〈ご家族へのお願い〉 入院中は、発作時に備え、ご家族に付き添いをお願いしております。買ひもの等で、病室を離れる際は看護師にお知らせください。 また、発作時はその場を離れず、ナースコールでお知らせください。すぐに看護師が伺います。 	☐内服薬は飲み忘れがないように用法、用量を守りましょう。 ☐発作を予防するために、睡眠を十分にとり、規則正しい生活を心がけましょう。 	